



西瀬きんごん

JA かながわ西湘では管内の正組合員を対象とした農業機械利用事業を行っております。
農業機械の利用には、機械利用講習の受講が必須となります。詳細は
中井センターからのお知らせ、または8月の広報誌をご覧ください。お気軽に窓口まで！

【水 稲】

水管理（高温障害の対応） 重要

出穂後20日間の平均気温が26～27℃以上の高温で推移すると、高温障害粒（乳白粒・心白粒等）が多発し、品質が低下してしまいます。

出穂期前15日、出穂期後10日間は水を切らさないようにしましょう。

その後は、根の活力維持のため間断灌水に努めましょう。35℃以上の異常高温が予測される場合は、掛け流し灌水をすることにより、圃場の気温が低下して被害を軽減することができます。

病害虫防除 8月上旬～中旬

○カメムシ類・ウンカ類 ・スタークル粒剤 収穫7日前 3kg/10a発生状況に注意しましょう。
※昨年、管内でもトビロウンカによる坪枯れ被害が出ています。カメムシ類と合わせてウンカ類の防除も実施しましょう。

防雀網の設置

開花時に影響が無いように、出穂前に済ませましょう。

自然対策

- 豪雨の時 水口、水尻を閉め過剰な水路からの流入による倒伏を防ぎましょう。泥水が入った場合には、すみやかに新鮮な水と入れ替えましょう。
- 強風の時 水口、水尻を閉め深水にして、風による倒伏を防ぎましょう。

【温州みかん】 *下線が引いてあるものは重要防除です。

病害虫防除

7月下旬～8月中旬

○黒点病

○カイガラムシ類

チャノキイロアザミウマ

○ミカンハダニ

ミカンサビダニ

アザミウマ類

8月下旬～9月上旬

○黒点病

○ミカンハダニ

ミカンサビダニ

○チャノキイロアザミウマ

ヤノネカイガラムシ

（温州みかんを除く）収穫90日前（温州みかん）収穫30日前 4回
ペンコゼブ水和剤又はジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓
コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100㍓ 収穫前日 3回

メビウスフロアブル（劇）3000倍 33ml/水100㍓ 収穫7日前 2回

（温州みかんを除く）収穫90日前（温州みかん）収穫30日前
ペンコゼブ水和剤又はジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓
ダブルフェースフロアブル 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫前日 1回
又はダニゲッターフロアブル 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫前日 1回

エルサン乳剤（劇） 1,000倍 100ml/水100㍓ 収穫14日前 2回
又はスタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回
※チャノキイロアザミウマ多発園ではスタークル顆粒水溶剤を散布する。

品質向上対策

- ① 熟期促進を目的に、フィガロン乳剤の散布
満開後90日と110日の2回 3,000倍 300㍓/10a
- ② 被覆資材の利用 敷設は8月中、取り外しは収穫前におこなう
着色向上を目的の場合は、樹冠下に敷く（部分被覆）
着色向上と増糖・除草を目的の場合には、園内全体に敷く（全面被覆）

【中晩柑】

はるみ・不知火は、初秋の乾燥で細根が枯死しやすいため、水分ストレスを受けやすく、小玉、高酸果の原因になります。敷わらマルチ、ナギナタガヤの草生栽培により梅雨明け後から秋にかけての土壌の過乾燥を防ぎましょう。著しく乾燥が続く場合は灌水も検討しましょう。また、1果当たり100葉を基準に早めの摘果をしましょう。

特にはるみは着果量が多いと樹勢の低下や枯死の原因になりますので、樹冠上部1/3から1/4は必ず全摘果をしましょう。

【う め】

夏季剪定 8月中旬～9月中旬まで

縮間伐を行い周囲から光が当たるようにするとともに、立ち枝（覆う枝）の間引きで樹の内部まで光が入るようにして翌年の花芽の充実を図りましょう。8月中に終わると効果が高いです。

（小梅や樹勢が弱っている樹は、夏季剪定は控えめにしましょう。）

【キウイフルーツ】

夏季剪定終了後に発生した夏枝や、剪定した部分から出る新梢が巻きついた部分を取り除きます。結果枝の葉を充実させ、果実へ養分が行きやすくするために、新梢を伸ばさないようにしましょう。

※カメムシ発生時は、スタークル顆粒水溶剤 収穫前日 2,000倍 50g/水100㍓を散布

乾燥防止対策

初期肥大の時期には土壌を乾燥させないようにしましょう（敷わら・灌水）

【か き】 *下線が引いてあるものは重要防除です。

病害虫防除

8月上旬

○カキノハタムシガ

カメムシ類

コナカイガラムシ類

○うどんこ病

ダントツ水溶剤 4,000倍 25g/水100㍓ 収穫7日前

又は

スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日

トツブジンM水和剤 1,500倍 66g/水100㍓ 収穫前日 6回

8月下旬

○うどんこ病多発園

トリフミン水和剤 3,000倍 33g/水100㍓ 収穫前日 3回

灌 水

肥大促進・充実のため、梅雨明け後に乾燥が続く場合は、1週間に1回程度灌水をしましょう。

【く り】 *下線が引いてあるものは重要防除です。

病害虫防除

8月上旬

○実炭疽病

ベンレート水和剤 3,000倍 33g/水100㍓（裂果前但し収穫14日前 4回）

○モモノゴマダラノメイガ

フェニックスフロアブル 4,000倍 25ml/水100㍓ 収穫前日 2回

干ばつ対策

土壌の乾燥を防ぐために敷きわらをしましょう。（※梅雨明け前後に）

※ 網掛けの農薬につきましては医薬用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

【お茶】*下線が引いてあるものは重要防除です。

土づくり

8月中旬までに苦土石灰 120kg/10a と有機物のすきこみを30cm くらいの深さに行いましょう。

病害虫防除

8月上旬～8月中旬

○チャノミドリヒメヨコバイ ロディー乳剤 1,000倍 100ml/水100ℓ 摘採7日前 1回

チャノキイロアザミウマ

チャノホソガ

チャハマキ

チャノコカクモンハマキ

○炭疽病 オンリーワンフロアブル 3,000倍 33ml/水100ℓ 摘採7日前 2回

8月中下旬

○カンザワハダニ ミルベノック乳剤 1,000倍 100ml/水100ℓ 摘採7日前 1回

整枝

一番茶以降、更新作業を行ってない園では、8月上旬をめどに整枝を行いましょう。

ただし、樹勢が極端に悪い場合は、整枝は行わないようにしましょう。

【レモン】*下線が引いてあるものは重要防除です。

病害虫防除

8月下旬～9月上旬

○ミカンハダニ ダブルフェースフロアブル 3,000倍 33ml/水100ℓ 収穫前日 1回

ミカンサビダニ ダニゲッターフロアブル 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 1回

チャノホコリダニ

○かいよう病・黒点病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ

(葉害軽減のためクレフノン200倍を加用する)

○ミカンハモグリガ エクシレルSE 5,000倍 20ml/水100ℓ 収穫前日 3回

アザミウマ類

※毎年黒点病が多い園ではストロビードライフフロアブル3,000倍(収穫14日前)を散布しましょう。

<注意>

「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。(前日は24時間前)

「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△

☆中井営農経済センターからのお知らせ☆

① 回覧・注文書の取りまとめについて

・秋期生産資材(アグリシート、マルチ等) ・ラウンドアップマックスロード

・椎茸菌・器具・原木 ・落葉果樹苗木 ・ネトラップL

申込締切日：令和5年8月9日(水)までに

・中井管内の方は、中井営農経済センター(到着)まで

・相和管内の方は、相和支店(到着)まで

・下中管内の方は、下中集出荷場(ポスト)・前羽ポストまたは下中支店(到着)までお届け下さい。

スクミリングガイ(ジャンボタニシ)の防除について

スクミリングガイの発生が目立っています。この時期イネは食害されない大きさに育っていますが、非常に繁殖力が旺盛でまだまだ産卵時期が続きます。発生拡大を防ぐためにも対策をしましょう。

【対策】(薬剤散布と捕獲などを組み合わせて防除しましょう)

○薬剤(スクミノン、スクミンベイト3)散布。貝が集まる深水部分への重点的な散布

○貝の捕獲や卵塊の除去

○水田の水口、水尻にネットを取り付け、水路からの侵入や隣接する水田への侵入を防ぐ

○冬季に耕耘を行い、土中で越冬している貝を潰す

【注意事項】

○スクミリングガイには寄生虫(広東住血線虫)がいる場合があるためゴム手袋等を着用し素手では触らないようにしましょう。

正組合員向け

農業機械利用事業 講習会の開催について



JAかながわ西湘では平成29年8月1日より、農業機械利用事業を開始しました。

農業機械の利用にあたって、下記の講習会の受講が必須となりますので、ご参加いただくようお願いいたします。

すでに農業機械利用事業講習会修了証書をお持ちの方で、裏面にハンマーナイフモアの記載がない場合、ハンマーナイフモアを借りる予定のある方は追加講習が必須となります。

講習会日程

令和5年8月19日(土)

○ 午前の部 8:30 ~ 11:30 【全機種講習】

8:30 ~ 9:00 【ハンマーナイフモア追加講習】

場 所 JA 成田総合選果場 (小田原市成田802-1番地)

参加対象者 当JAの正組合員およびその家族

講習内容 剪定チップパー、トラクター、大型整枝機、自走・ラジコン防除機、マルチ管理機、乗用草刈機、歩行用草刈機、ハンマーナイフモアの取り扱い方法

※講習会は原則、全機種受講していただき、後日修了証をお渡しします。

※今年度より午前中のみ開催となります。

次回開催(冬期)は、開成事業所での実施予定です。

申込方法 令和5年8月4日(金)まで最寄りの支店または営農経済センターへお申し込みください。

※新型コロナ感染防止のため、マスクの着用でご参加ください。

問い合わせ先 JAかながわ西湘 中井営農経済センター

0465-81-2776

受付時間：平日 8:40~16:00

